TOKYO BAPTIST CHURCH 東京バプテスト教会
Weekend Message
週末メッセージが聞けます http://tokyobaptist.org/sermons/

イエス・キリストの即位　必ずこうなると書いてある聖書の言葉がどうして実現さよう

マタイによる福音書 26:47-56

2024年6月8日＆9日

余沢 武　牧師

I. はじめに

こんにちは。マタイの学びに戻ります。これまでゲツセマネの園でイエスが祈り、来るべき試練に対する準備をしたことを学びました。今日はこれから最も暗闇に包まれた時がどのように訪れ、イエスがどのようにそれに対応されたかを見ていきましょう。まず祈りましょう。

II. 聖書はどのように成就するのか

(1)　嘘

マタイ 26:47-49 を開きましょう。「47 イエスがまだ話しておられるうちに、十二人の一人であるユダがやって来た。祭司長たちや民の長老たちの遣わした大勢の群衆も、剣や棒を持って一緒に来た。48 イエスを裏切ろうとしていたユダは、『私が接吻するのが、その人だ。それを捕まえろ』と、前もって合図を決めていた。49 ユダはすぐイエスに近寄り、『先生、こんばんは』と言って接吻した。」

ユダは「大勢の群衆」とやって来ました。それはおそらく100名ほどだったようです。

その時ユダは一緒に来た人達との合図を決めていました。ユダはその人達にこう伝えました。「私が接吻するのが、その人だ。」 古代中東では、キスは尊敬と愛情を表すものでした。

例えば次のようにです。
1 奴隷は主人の足にキスをしました。
2 普通の使用人は、挨拶する人の手の甲にキスをしました。
3 普通の人は手のひらにキスをしました。
4 とても親しい近い関係にある場合、愛情や親しみのしるしとして、相手を抱き寄せ、両頬にキスをしました。

ユダはどんな合図でも選ぶことも出来たのに、自分を愛し、教え、気にかけてくれた方をこんなキスで裏切ることを選んだのです。

これは人がサタンの導きに従っている時に起こります。その心は恨みと敵意で満たされています。真顔で、そして笑顔で平気で嘘をつくのです。

聖書にはサタンが偽りの父であるとあります。エデンの園で、サタンは人間の心に嘘を入れたのです。アダムとエバに、神が嘘つきで神の言葉は信じるべきではない、と嘘を伝え、神を信じるべきでないと言いました。嘘と偽りがサタンの世界の本質なのです。

(2)　神の真理

50 節-54 節「50 イエスは、「友よ、しようとしていることをするがよい」と言われた。その時、人々は進み寄り、イエスに手をかけて捕らえた。51 すると、イエスと一緒にいた者の一人が、手を伸ばして剣を抜き、大祭司の僕に打ちかかって、片方の耳を切り落とした。52 そこで、イエスは言われた。「剣を鞘に納めなさい。剣を取る者は皆、剣で滅びる。53 私が父にお願いできないとでも思うのか。お願いすれば、父は十二軍団以上の天使を今すぐ送ってくださるであろう。54 しかしそれでは、必ずこうなると書いてある聖書の言葉がどうして実現されよう。」

弟子の一人は剣を抜いて大祭司の僕の耳を切り落とし、イエスを救い出そうとしました。ヨハネによると、これをしたのはペテロだったそうです。しかし、イエスは言われました。「剣を鞘に納めなさい。」そしてその3つの理由を伝えます。

理由その 1:イエスは言われます。「剣を取る者は皆、剣で滅びる。」

イエスは、警察官や軍人が安全のために武器を使うことを非難しているのではありません。そうではなくて、剣で戦う者が剣によって死ぬことが多いと言っています。霊的な戦いや神のために行うことに関して私達は物理的な力を使って戦いません。

ジェームズ・ボイス牧師は、改革者マルティン・ルターが剣をもって戦うことを拒否した様子を書いています。1524 年、彼が 95 ヶ条の論題をヴィッテンベルク城教会の扉に釘で打ち付けてから 7 年後、ドイツの農民たちは政府に反抗し、農民戦争を起こしました。

その戦争を起こした人達は宗教改革を支持し、カトリック教会にも反対していた人達でした。彼らはルターに自分たちの運動への支持を求めましたが、ルターは拒否しました。ルターは、上に立つ権威は神が立てられたものと信じ、クリスチャンはこの世の武器で

戦うのではなく、神の御言葉で戦うべきだと信じていました。

そのため農民戦争は、13 万の農民が命を落とす悲劇的な結末を迎えましたが、一方で宗教改革は勝利しました。私たちが神の大義を物理的な力で前進させることはできないのです。

理由その 2:私たちは神の力で戦います。イエスは 53 節でこう言われます。「私が父にお願いできないとでも思うのか。お願いすれば、父は十二軍団以上の天使を今すぐ送ってくださるであろう。」

もしイエスが彼を捕らえに来た大勢の群衆と戦うとしても、イエスは弟子達の剣に頼らないでしょう。イエスは御父の力に頼り、神は十二軍団以上の天使を送ってくださるのです。

「レギオン」とは、6,000 人の軍隊のことです。天使の十二軍団は 72,000 の天使です。
渋谷スクランブル交差点で信号が青になるたびに、約 1,000 人が交差点を渡ります。つまり天使の数は渋谷スクランブル交差点の青信号で渡る人の 72 倍になります。
野球ファンの方でしたら、東京ドームの収容人数が 55,000 人になりますので、その 1.5 倍の天使がそこに送られることになります。

旧約聖書の**列王記下 19 章**でヒゼキヤ王が祈ったとき、一人の天使が来て 185,000 人のアッシリア兵を打ち殺したと聖書にはあります。もしイエスが父なる神に求めるなら、1 人ではなく、72,000 の天使（渋谷の交差点 × 72 倍、東京ドーム × 1.5 倍）を送り、100 人の群衆は処分されてしまうでしょう。

だから私達は人間の力では戦わないのです。私達は神の力で戦います。

理由その 3:イエスはそう言われましたが、それがこのポイントではありません。ここではもっと大切なことがあります。54 節でイエスは言われます。**「しかしそれでは、必ずこうなると書いてある聖書の言葉がどうして実現されよう。」**

これが「サタンの王国」、つまりこの世と「神の王国」の違いです。:
サタンの王国、つまりこの世では、自分の感情を満たすことであれ、お金であれ、成功であれ自分の欲しいものを手に入れるために私達は生きます。それが目的ですので、生きていると、時として、自分の望むものが手に入るなら嘘をつくよう誘惑されるでしょう。ユダにとってはそれがお金でした。彼はお金を手に入れるためなら喜んで欺きました。
ペテロにとってはそれが安全でした。だからペテロは剣を取りました。そして後に、彼が 3 度も嘘をついてイエスを否定したのもそのためでした。ペテロもまた、まだその時はサタンの王国に生きていたのです。

しかし神の王国では、神とその真理、そして神の御言葉、つまり「聖書に…と書いてある」ということが全てなのです。
その状態は、エデンの園でサタンの嘘によって失われ、サタンは王国を築きました。イエスはそれを覆し、回復するために来られたのです。
だから、イエスがバプテスマを受けた後最初に教えたのは、これなのです。**「『人はパンだけで生きるものではなく神の口から出る一つ一つの言葉によって生きる』と書いてある。」（マタイ 4: 4）**

神の御言葉にはこうあります。
ゼカリヤ書 13: 7a「剣よ、…牧者を打て。すると、羊の群れは散らされる。」

詩編 22:17–18「[17] 犬が私を取り囲み 悪をなす者の群れが獅子のように 私の両手両足を囲んでいる。[18] 私は骨をみな数えることができる。彼らは目を留めて、私を眺め回す。」

イザヤ書 53:12「それゆえ、私は多くの人を彼に分け与え…彼が自分の命を死に至るまで注ぎ出し…たからだ。」

神の御言葉によれば、多くの人が神の国に導き入れるためにはこれらのことが必要だったのです。だからイエスはこう言われるのです。「しかしそれでは、必ずこうなると書いてある聖書の言葉がどうして実現されよう。」

私達は、この世の生活と神の王国の生き方の違いがはっきりわかるようになります。
片方は、自分が最善だと思うことが全てです。だからユダとペテロはあのようなことをしてしまいました。
もう片方は神の御言葉「聖書に…と書いてある」が全てです。神のご計画が最善だと信じることです。これが、イエスがその時にされた行動の理由でした。

ここで質問があります。もしそうなら弟子達はこの状況にどう反応すべきだったのでしょう。弟子達はイエスと同じようにすべきでした。
1 神の御言葉、神の御心が成されることを望む。
2 祈る。大祭司の中庭でもどこででも、神の御言葉が成るように、神がこの試練の中でイエスを支えてくださるように、そして神の御国が来るように祈る。
3 どんな状況にあっても、神の御言葉に従うことに

集中する。
4 イエスはそれでも十字架につけられたでしょう。しかし、彼らは剣を抜いたり、イエスについて嘘をついたりはしなかったでしょう。

このことを踏まえて、神の国の民として、私たちは人生の状況にどのように対応すべきなのでしょう。

私達も、神の御言葉を読み、私たちの人生において御言葉が成るよう望むべきです。それが次のようなことにどう対応するかの導きとなります。
- 妻、夫、両親、子供、そして権力者にどう接するか。
- 結婚をどう見るか。 性的不道徳や同性愛関係をどう見るか。
- お金、仕事、政府、偶像崇拝、仏壇、先祖崇拝をどう見るか。

1 神の御言葉が私達の人生の内で成るように祈りましょう。神様が私たちを支えてくださいます。神の御国は来ます。
2 どのような状況にあっても、神の御言葉に従うことに集中しましょう。
3 神の最善のご計画が私たちの人生でなされていくのを見ることが出来ると期待しましょう。

(1) 恐れ

55 節-56 節 「[55] またその時、イエスは群衆に言われた。『まるで強盗にでも向かうように、剣や棒を持って捕らえに来たのか。私は毎日、神殿の境内に座って教えていたのに、あなたがたは私を捕らえなかった。[56] しかし、すべてこうなったのは、預言者たちの書が実現するためである。』この時、弟子たちは皆、イエスを見捨てて逃げてしまった。」

ですから全ては「預言者たちの書が実現するためである。」ということなのです。

イエスの地上でのミニストリーが終わりに近づくにつれ、私達にはそれが一体何だったのかが見えてきます。
① それは、エデンの園で起こったことを覆すこと、つまり、嘘を神の真理に置き換えることなのです。
② **「人はパンだけで生きるものではなく 神の口から出る一つ一つの言葉によって生きる」**という言葉からイエスは始められました。イエスはバプテスマのヨハネから洗礼を受ける必要がある、と言われた後すぐにそう言いました。
③ イエスは最後まで神の御言葉に従いました。
④ イエスは最後に、**マタイ 28:19-20** で私たちに大宣教命令を与えて地上でのミニストリーを終えられました。

「[19] だから、あなたがたは行って、すべての民を弟子にしなさい。」(これは最後の命令です。①の目的を満たすために弟子をつくるべきなのです)**「彼らに父と子と聖霊の名によって洗礼(バプテスマ)を授け、」**(②の目的のためです)**「[20] あなたがたに命じたことをすべて守るように教えなさい。私は世の終わりまで、いつもあなたがたと共にいる。」**

神の王国とは、洗礼を受け、神の御言葉「あなたがたに命じたことすべて」に従う民のことです。イエスご自身がまず洗礼を受け、神の御言葉どおりに生きるよう教えたように。

皆さんはいかがですか。自分の欲望や感情を満たすために生きていますか。それとも、神の御言葉が、イエスを通してあなたの人生で成るよう生きていますか。

もしまだ自分の欲望や感情のために生きているなら、イエスを信頼し、真理があなたを自由にするよう願います。そうすることで神があなたに与える人生を生きるようになります。今日からそうしてください。

指定のない限り聖書は協会共同訳を使用しています。
聖書 協会共同訳: ©日本聖書協会
Japan Bible Society, Tokyo 201

キリストのことをもっと知りたい
洗礼を受けたいという方はこちら
メール：cc@tokyobaptist.org
もしくは：https://t-b-c.us/cc

TBC Life 申込み
（毎週届くメールニュース）
http://t-b-c.us/tbclife

SG レッスンの PDF
https://t-b-c.us/sg2424jp

★クラス 201
クリスチャンとして成長するために
6 月 22 日（土）1:30pm - 5:30pm
参加条件: クラス 101 を修了したメンバーの方

https://t-b-c.us/classes

オンライン献金
http://t-b-c.us/give

スモールグループ参加申込み
http://t-b-c.us/sgsu

奉仕者募集中！

1．日本語字幕オペレーター

月 1～各礼拝の時間の日本語字幕のページを矢印キーで押していく作業。コンピュータースキルはいりません。
スキル：英語を聞いて日本語がどこを話しているかわかる程度の英語力

2．日本語訳字幕作成

月 1～土曜日 16 時に TBC にて作業します。
Mac でプロプレゼンターというソフトで作成しますが、1，2 回のトレーニングで簡単に覚えられます。作成後、土曜日 19 時の礼拝の日本語訳字幕オペレーターもお願いしています。
スキル：英語を聞いて日本語がどこを話しているかわかる程度の英語力

3．週末礼拝メッセージ翻訳

1 か月半に 1 度くらいのペース
自宅での作業になります。
英語のメッセージ原稿を日本語に翻訳します。
スキル：英語と日本語が堪能な方

4．日本語訳レイアウト＆印刷（女性募集）

月 1～土曜日 16 時に TBC にて作業します。
MS Word を使用してひな形に入れてレイアウトし印刷します。
スキル：MS Word の簡単な操作ができる方。英語のスキルは必要ありません。

*TBC の教会員であることが必須です。

連絡先：hiromik@tokyobaptist.org